

Rapid Response Systemのコール基準 2

- 患者がどうも変
- 急激な脈拍数の変化(130/minより多い、40/min未満)
- 急激な血圧の低下(収縮期血圧90mmHg未満)
- 急激な呼吸数の変化(30/minより多い、8/min未満)
- 急激な酸素化の悪化(酸素投与下でSpO₂90%未満)
- 急激な意識低下
- 急激な乏尿(4時間で50ml未満)

Bellomo *et al.*, 2003, 2004

Rapid Response Systemのコール基準 3

- 上気道狭窄
- 呼吸停止
- 呼吸数36/minより多い、または5/min未満
- 心停止
- 脈拍数140/minより多い、または40/min未満
- 収縮期血圧90mmHg未満
- 急激な意識低下(GCSで2点以上の低下)
- 痙攣重責
- 上記にあてはまらないが、患者がどうも変

MERIT study, 2005

教育訓練の現実的限界

- 急変時の場面について
 - 好きな時に再現できない
 - 不慣れな者を参加させ難い
 - その状況を共有したくとも困難

共有するためには

- 何を共有するか
 - 場面や状況:空間的同一性
 - 時間として:時間的同時進行性
- 同じ場面に同じ時間を居合わせることは困難
- どちらかを優先せざるを得ない
- 場面の共有:標準化させた状況を用意。
- 時間的同時進行性:多重業務・多重課題への訓練